

製品名: CD4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21251**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:51kD;Observed MW:60kD

抗原情報

遺伝子名	CD4
別名	T-cell surface glycoprotein CD4;T-cell surface antigen T4/Leu-3;CD antigen CD4;
遺伝子 ID	920.0
SwissProt ID	P01730
免疫原	ヒト CD4 の合成ペプチド

背景

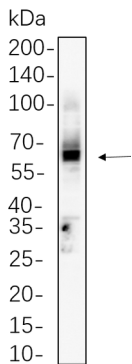
細胞局在: 膜。CD4 分子 (CD4) ホモ・サピエンス この遺伝子は、主要組織適合抗原複合体クラス II 抗原と相互作用する T リンパ球

の膜糖タンパク質をコードし、ヒト免疫不全ウイルスの受容体でもある。この遺伝子はTリンパ球だけでなく、B細胞、マクロファージ、顆粒球にも発現している。また、脳の特定の領域でも発現している。このタンパク質は、T細胞活性化の初期段階を開始または増強する機能を持ち、中枢神経系の感染症および免疫介在性疾患における間接的な神経細胞障害の重要なメディエーターとして機能する可能性がある。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが同定されている。[RefSeq 提供、2010年8月]

研究分野

-

画像データ



マウス胸腺全細胞ライセートを10% SDS-PAGEで分離し、メンブレンをCD4ウサギモノクローナル抗体(1:1000)でブロッティングした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。